



## 喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道



**アクセス(自動車)**  
 《一般道》那覇空港→国道58号線→国道330号線→村道仲順・屋原原線(約45分)  
 《沖縄自動車道》那覇IC→北中城IC→県道81号線→国道330号線→  
 村道仲順・屋原原線(約15分)  
 ※「あかりの杜(生涯学習複合施設)」を目指すと便利です

**問い合わせ先**  
 《北中城村役場 企画振興課》  
 Tel.098-935-2233  
 http://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp  
 〒901-2392 沖縄県北中城村喜舎場426-2

《「あかりの杜」》  
 Tel.098-983-8060  
 http://www.avakari.jp  
 〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場1214番地

《世界遺産国指定史跡 中城城跡》  
 Tel.098-935-5719  
 http://www.nakagusuku-jo.jp  
 〒901-2314 沖縄県北中城村字大城503番地



女性長寿日本一の村

北中城村  
OKINAWA KITANAKAGUSUKU

都市的な街並みを形成する中部圏域の中でも、緑に恵ま  
 れた風光明媚な自然、歴史的な  
 文化遺産に囲まれた「平和で、人  
 と緑が輝くむら」として知られ  
 ています。

北中城村は、かつて中城の一部として永い歴史を歩ん  
 できましたが、去った第二次世界大戦において、占領軍の施  
 設によって村が南北に分断され、行政の執行に支障をきた  
 したことから、昭和21年(1946年)5月20日、中城村の北側  
 に属した12行政区が分離して、新たに「北中城村」として誕  
 生しました。



# 喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道

## 喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道

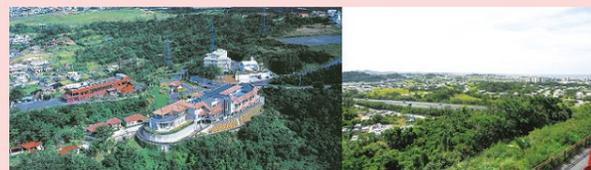
- 1 王妃御墓**  
 舜天王統三代目、義本王(1206年~?)の妃の墓所と伝えられています。義本を葬ったとされる墓は「ナスの御獄」にありますが、王妃御墓に葬られているという伝承もあります。
- 2 チュンジュン 仲順ビジュアル**  
 仲順ビジュアルは、かつて花崎門中の女性司祭者により、旧暦の9月9日に例祭が行われていました。以前はウガンモー(現在のE.Mホテル付近)に所在していましたが、道路建設などにより「ナスの御獄」の西側に移設されています。
- 3 ウタキ ナスの御獄**  
 『琉球国由来記』によると、「ナスツカサ御イベ」呼ばれる神が祀られており、安谷屋ノロが祭祀を司っていました。奥の岩の上には、舜天・舜馬順照・義本の三王を葬ったとされる墓があります。

- 4 チュンジュンウフシュ 仲順大主の墓**  
 仲順大主は今から約700年前に仲順を統治していたと言われている人物で、人々から深く尊敬されていました。仲順大主の墓は、仲順集落の北側にあり、琉球石灰岩の岩根を掘り込んで造られています。
- 5 村立中央公民館**  
 村立中央公民館では、毎年8月から9月にかけて、村内の歴史や文化を学ぶことをテーマに、収藏品や調査成果の公開などを行っています。
- 6 ウフカー/カーグワー**  
 仲順地区の村井戸として利用されてきました。戦前まではお宮の例祭で拝まれており、戦後の一時期までは正月の若水が汲まれていました。
- 7 根殿の杜**  
 仲順の「お宮」一帯は、根殿の杜と呼ばれ、現在は公園として整備されています。また、同地は仲順原遺物散布地となっており、グスク時代(約800~500年前)の土器や白磁が採集されています。

- 8 上門ガー**  
 仲順集落が「ナスの御獄」一帯にあった頃の産井戸と伝えられています。井戸の中に立てられたクルトツ石(細粒砂岩)によって左右に区切られているところが特徴です。
- 9 仲間神屋**  
 喜舎場村を創建した喜舎場公の直系にあたる家と伝えられています。現在でも字の重要な拝所となっており、喜舎場公例祭など様々な行事で拝まれています。
- 10 ヒヌカン 火の神**  
 仲間神屋の西側にある拝所です。普天満宮への遷拝所といわれていますが、拝所の名称やどのような意味でここから遷拝するかなどの詳細は未だ分かっていません。
- 11 喜舎場の石獅子**  
 喜舎場公園内にある琉球石灰岩で造られた石獅子です。以前は、集落の南西側の俗称ビンダマーチャーから安谷屋の北側にあった「カニサン」と呼ばれていた大きな岩山に向かって据えられていました。

- 12 トウン 喜舎場の殿**  
 殿(トウン)は喜舎場公園内にあり、壁の無い四本柱の建物です。北側に設けられた祭壇には数個の石が火の神として祀られています。
- 13 喜舎場公の墓**  
 喜舎場村の創設者の墓で、喜舎場公園の後方斜面の中腹にあります。『球陽』の外巻『遺老説伝』に「往昔、喜舎場公なる者有り、此の邑を創建す。」と記されています。
- 14 喜舎場公之子孫上代之墓**  
 喜舎場公の墓の東側にあり、墓碑には「喜舎場公之子孫上代之墓」と記されています。喜舎場公例祭の時に拝まれています。
- 15 ビンダガー**  
 周辺住民の生活用水として利用されていたカー(井戸)で、築造時期は不明です。近くにはサーターヤー(製糖小屋)があり、農繁期には多く利用されていました。
- 16 ウフカー**  
 喜舎場公民館近くにあるカー(井戸)。子どもが生まれた時には産水として、旧正月には若水として利用されていました。また、旧暦の5月15日(ウマチー)には集落内の各門中で拝まれました。
- 17 ガンヤ 喜舎場の龕屋**  
 龕(ガン)と呼ばれる棺を墓まで運ぶ朱塗りの輿を保管していた建造物。屋根は二枚の石をアーチ型に組み合わせ、内壁や外壁にはあいかた積みや布積みが用いられています。

西海岸の美しい景色が見下ろせます。



あやかりの杜

あやかりの杜 図書館、体験・学習機能、宿泊施設、野外活動広場などが利用できる施設。



## 喜舎場・仲順地区の見どころ

喜舎場・仲順地区は、沖縄や地域の歴史文化を散策できるだけでなく、斜面緑地や集落の背景となる丘陵緑地といった豊かな自然環境や景観を残しております。また、中城湾や西海岸を見下ろすビューポイント等も数多く存在し、訪れる人々の心を癒してくれます。

# 喜舎場・仲順

## 歴史と文化の散歩道

北中城 見どころ **17**

《散策距離：4.0km / 所要時間 80分》

【凡例】 コースルート

見どころ

お手洗い

駐車場

食事のできる場所



### 北中城村のテンブス(へそ)「喜舎場地区」

北中城村の中央部に位置し、役場や小学校、幼稚園などの公共施設、観光客が多く宿泊するホテルなどが集中しており、文字通り、北中城村の中心地となっております。

琉球史料「球陽」によると、喜舎場公によりシマ(村)が立ち上がり、この地域の住民は、喜舎場公の直系にあたる仲間家を喜舎場公

の根所として崇めております。旧暦9月18日には、字行事として、喜舎場公例祭を行っております。

喜舎場地域には、喜舎場公にまつわる遺産のほか、カー(井戸)やガンヤー(龍屋)など、沖縄の古き風習や暮らしを垣間見ることができます。



### 琉球歌劇「仲順流り」発祥の地「仲順地区」



旧盆間近になると、ここかしこから「仲順流り」の歌が聞こえてきます。この歌は、仲順地区(シマ)を立ち上げた仲順大主にまつわる話を題材に祖霊供養の歌として作られました。「仲順の教えは数々あるが、ありがたいお囃子も数え切れぬほどにある。仲順大主は果報な者で、三人の子どもに恵まれた…」亡くなった親を想う気持ちを、先祖の敬う心に重ねたエイサー節です。現在では、最もメジャーなエイサー曲のひとつとして知られています。

また、仲順地区には、地域の統治者となった『仲順大主の墓』や「琉球国由来記」で伝えられる「ナスツカサ御イベ」が祀られている『ナスの御獄』など、沖縄の古き歴史を知る遺産が点在しています。